

記者資料提供（2025 年 7 月 29 日）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）三好、大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



KIITO:

考える力を育てるための「観察」について学ぶ連続講座
+クリエイティブゼミ vol.42 デザイン編「考えるための観察」を開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりゼミを開催いたします。

+クリエイティブゼミ vol.42 デザイン編 考えるための観察

2025年 8月 21日(木)、24日(日)、28日(木)、31日(日) 全4回



デザイン・クリエイティブセンター神戸では、+クリエイティブゼミ vol.42 デザイン編「考えるための観察」を開催します。今回の講座では、どのような仕事・活動においても求められる柔軟な思考力を「観察」という基本的な行為から再構築し、学んでいきます。講師に、京都芸術大学の准教授であり、様々な展覧会の企画を手掛ける DESIGN MUSEUM LAB の代表でもある久慈達也さんを招き、日常的に使用するプロダクトや KIITO 周辺の環境の観察などのワークを通し、「見る」という行為を意識的に深め「考える力」を育てていきます。観察を通したものの見方や、アイデアの出し方などに興味・関心のある方のご参加をお待ちしております。

【開催概要】+クリエイティブゼミ vol.42 デザイン編 考えるための観察

日時：2025 年①8 月 21 日（木）19:30～21:00、②8 月 24 日（日）13:00～17:00

③8 月 28 日（木）19:30～21:00、④8 月 31 日（日）13:00～17:00 ※全 4 回

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸、KIITO 周辺

講師：久慈達也（DESIGN MUSEUM LAB / 京都芸術大学准教授）

参加費：1,000 円（教材費として）

定員：20 名（要申込・申込多数の場合は抽選）※全 4 回のゼミに参加できる方

お申込み ウェブサイト（<https://kiito.jp/>）からお申込みください

申込期間 7 月 29 日（火）15:00～ / 申込締切 8 月 15 日（金）23:59

※抽選結果は 8 月 18 日（月）中にご連絡いたします。

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

協力：京都芸術大学大学院 芸術環境専攻 文化デザイン・芸術教育領域 文化企画構想研究室

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4 開館時間 | 9 時～21 時 休館日 | 月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日）

WEB | <https://kiito.jp/>

【スケジュール】

第1回 8月21日(木) 19:30～21:00

レクチャー：「考える力」と「見る力」 よく見ることから思考がはじまる。

第2回 8月24日(日) 13:00～17:00

ワークショップ：「見る力」の拡張 よく見ることで知覚の地図が広がる。

第3回 8月28日(木) 19:30～21:00

レクチャー：「見る力」の編集 よく見ることで世界を組み立てる。

第4回 8月31日(日) 13:00～17:00

ワークショップ：「見る力」の活かし方 よく見ることを発想につなげる。

【講師プロフィール】



久慈達也 (DESIGN MUSEUM LAB 代表/京都芸術大学准教授)

1978 年生まれ、青森市出身。東北大学大学院国際文化研究科博士課程を中退後、神戸芸術工科大学研究員を経て、2012 年に展覧会企画・編集事務所 DESIGN MUSEUM LAB を設立。展覧会の企画設計を通して、現代の生活文化を研究。主な展覧会：「Perfume COSTUME MUSEUM」「アニメーション美術の創造者 新・山本二三展」「GOOD DESIGN AWARD 神戸展」。

【これまでの講座の様子】



「+クリエイティブゼミ Vol.25 デザイン編 観察のカガク」2017 年 7 月 5 日(水)～26 日(水)



「+クリエイティブゼミ Vol.31 デザイン編 観察のカガク実践編 デザインの観察ノート」2019 年 7 月 10(水)～31 日(水)

【+クリエイティブゼミとは?】

社会的な課題に対して「+クリエイティブ」なアプローチで解決する考え方や手法を、市民参加、かつ小グループのディスカッションを行い、ゼミ形式で学べるプログラムです。また、社会課題解決の精度を高めるためことを目的に、フィールドワークの手法を実践的に身につけ、まちづくりやデザインの考え方を学ぶ講座も実施しています。